

報道関係各位

2023年3月15日

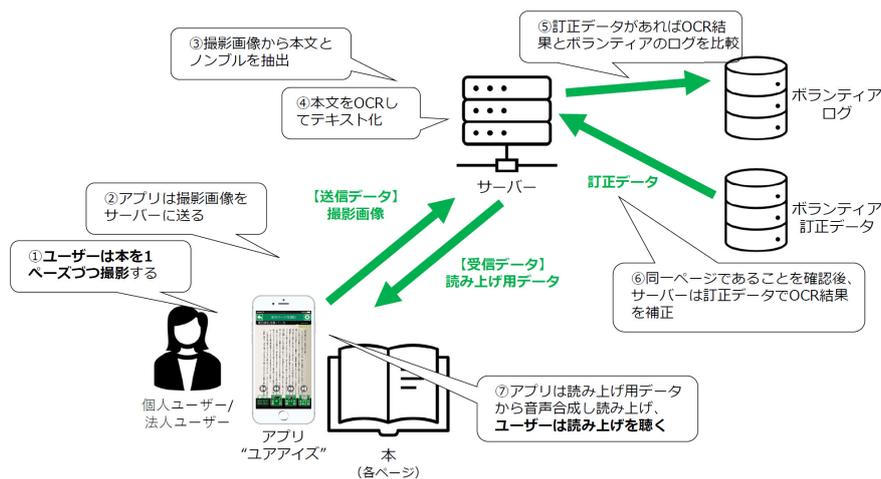
株式会社スプリューム

“本を読むのが困難な方に読書体験を提供する”
読書支援サービス『ユアアイズ』事業のさらなる展開のために
スプリュームは SARTRAS に登録しました。

株式会社スプリューム（本社：東京都大田区 <https://www.splume.co.jp> 以下、スプリューム）は、読書支援サービス『ユアアイズ』（<https://youreyes.jp>）を展開しています。サービスをご利用いただく方の利便性をさらに高めるため、このたび弊社は SARTRAS（一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会）が公開する「視覚障害者等のための複製・公衆送信が認められる者の一覧」に登録いたしました。

『ユアアイズ』は、本を読むのが困難な方に読書体験を提供する読書支援サービスです。月額サブスクモデルの iOS アプリとして本を読むのが困難な個人ユーザーにご利用いただいているほか、兵庫県あかし市民図書館、千葉県西部図書館などにも来館者向けの読書支援サービスとしてご導入いただいています。

『ユアアイズ』は、手元の本を iPhone、iPod touch のカメラで本を 1 ページずつ撮影し、合成音声で読み上げるサービスです。撮影画像はユアアイズサーバーに送られ、AI で版面解析され、読み上げデータがアプリに返送されます。アプリは読み上げデータをもとに合成音声で撮影されたページを読み上げます。OCR（光学文字認識）技術で文字を読み上げるサービスはこれまでもありましたが、『ユアアイズ』は“本の読み上げに特化したサービス”としてさまざまな独自技術を盛り込んでいます。

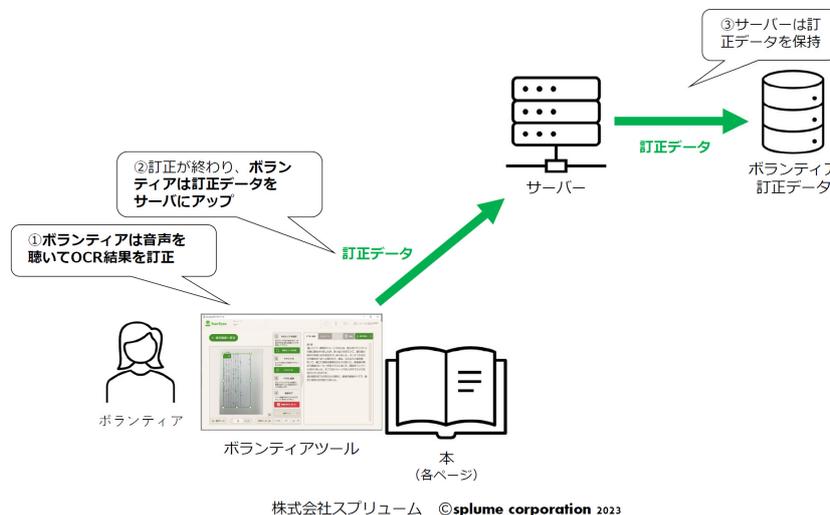
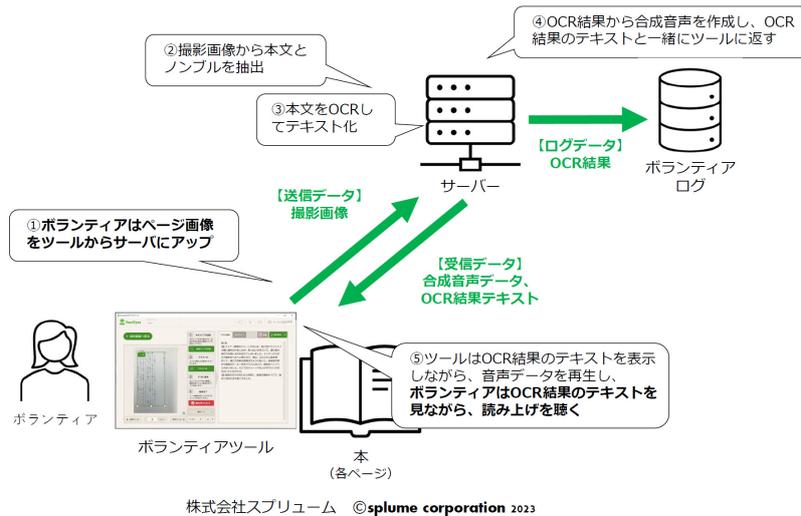


株式会社スプリューム ©splume corporation 2023

『ユアアイズ』の大きな特徴として、ボランティアユーザーの参加、ボランティア向けに提供する Windows/Mac-OS 対応『ボランティアツール』があります。これは現在の AI による OCR の限界をボランティアの人力で補うものです。最新の AI でも 100%正しく本を読み上げることはできず、若干の誤読が発生します。

また、小説の主人公の名前や難読地名など、文字が読み取れても読み方が正しくない場合も起こります。ボランティアツールを使えば、こうした OCR の限界をボランティアが訂正できます。ユアアイズサーバーは AI 版面解析に加え、ボランティアによる訂正データを参照して、より正しく、快適な読み上げを実現します。

さらに『ボランティアツール』でイントネーションを微調整したり、視覚障がい者向けの音訳図書と同様に図版の説明を音声で加えたり、小説に登場する話者に男性や女性の声を割り当てたり、喜怒哀楽の表現を加えたりすることもできます。



このような『ボランティアツール』の可能性を拡げるため、この度、弊社は SARTRAS(一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 <https://sartras.or.jp/>)が“著作権法施行規則(昭和四十五年文部省令第二十六号)第二条の四の規定に基づき、文化庁長官が定めるウェブサイト”として管理する『視覚障害者等のための複製・公衆送信が認められる者の一覧』(<https://sartras.or.jp/dai37jyo/>)に登録しました。

(一覧 (https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/37_list.pdf) の通番 143 をご覧ください。)



この登録により、ボランティアは弊社の指導のもと、著作物の複製・公衆送信が認められるようになります。たとえばボランティアサークルを弊社に登録いただき、サークルのメンバーが1冊の本データを共有し、手分けしてAIによる読み上げデータの訂正をおこなうことができるようになります。(※ ボランティアの方には、SARTRAS登録団体である弊社の指示のもとに訂正作業をおこなっていただきます。)

視覚に障がいのある方、加齢などで本が読めなくなった愛書家の方、ディスレクシアなどの学習障がいにより本の黙読が困難な方など、これまで本を読むのが困難だった多くの方に向け、点字図書や音訳図書とは異なる新たな選択肢となる、手元にある紙の本を楽しめるサービス『ユアアイズ』を今後ともよろしく願いいたします。

◆本件に関するお問い合わせ◆

株式会社スプリューム広報担当メール : info@splume.co.jp

《株式会社スプリューム 概要》

スプリュームは、博覧会映像やNHK『人体III』などのハイエンドなコンピュータグラフィックス制作を手がけてきたメンバーにより2005年設立されました。2007年には特許を取得した3D技術を基盤に、現在のメタバースの先駆けともなる、3Dインターネット・コミュニケーション・プラットフォーム『splume』を提供開始しました。現在は、XR (VR/ARなどVirtual Experience) デザイン/マネジメント/コンサルティング事業を展開し、自社サービスを提供しています。

■会社名:	株式会社スプリューム (splume Corporation)
■本社 / Remote Work Headquarter:	東京都大田区石川町2-19-5
■設立:	2005年10月
■代表取締役:	梶塚 チハル
■コーポレート・サイト:	https://www.splume.co.jp/